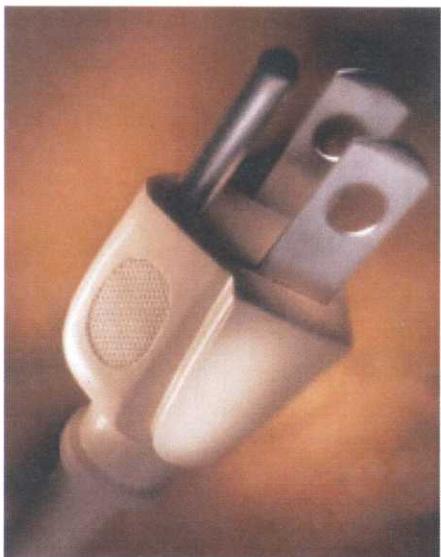




# Electrical Safety

MONTHLY  
SAFETY  
BRIEF

June 2004  
NAF Atsugi



完璧な人など、どこにもいません。みんな、助けが必要です。厚木安全課のスタッフ、貴方の上司、そして貴方の職場の安全担当者が一日中貴方を見張る事など不可能です。職場における感電による事故は貴方の心がけ次第で防げます。



**コンセント：**過熱から火事の原因になるような、グラグラしているプラグがないかチェックしましょう。カバーの無いものや壊れたコンセント見つけたら、上司に報告しましょう。

**コード：**擦り切っていたり、裂けていないかなど、コードが良い状態であるかどうかをチェックしましょう。

人の通り道になる場所にコードを引かないこと。たこ足配線は止めましょう。コードは絶対にくぎやホチキスで壁や柱や家具などに止めたたりしない事。コードをカーペット、敷物や家具の下などに通さないこと。

**延長コード：** 延長コードは一時的な使用のみ許可されます。

**プラグ：** コンセントに合ったプラグを使用しましょう。三つ又プラグからグランドピンを切り離して、コンセントに差し込まないようにしましょう。感電の原因となります。コンセントに合わないプラグは使用しないようにしましょう。大型冷蔵庫や電子レンジなどのような消費電力が多い電化製品は直接コンセントから電源を取るようにしましょう。

**漏電遮断機 (GFCIs) :** 漏電遮断機は感電から私達を守ります。GFCIは水周りに電気配線を必要とするような場所に使用されます。漏電遮断機が漏電を感じた時、アースが取れていないと機械が推測し、GFCIのブレーカーが働いて感電などの深刻な事故が起こる前に電気を遮断します。

